

第3回中津川市リニアのまちづくりビジョン策定委員会 議事要旨

日時 平成24年11月5日(月)14:00～
場所 健康福祉会館4階多目的ホール

[報告]

1. 第2回策定委員会の意見と対応について
2. アンケート調査の集計結果について
3. 各種委員会での検討状況について
 - ①策定委員会幹事会(部会)の検討状況について
 - ②女性若者委員会の検討状況について
 - ③地域委員会・各地域協議会の状況について

[議事]

1. ビジョンアウトプット構成案について
2. 今後の進め方について
3. 整備イメージ(案)叩き台(地元協議会用資料)について

[主な意見]

(アンケートについて)

- 企業アンケートにある「先進医療機関」とは具体的にはどのような内容を考えているのか。最先端の医療機関なのか。この位置づけについても検討していかないといけない。
- 市民アンケートの「中津川市の自然、景観等に配慮しながら地域の活性化に必要な開発等を行っていく」という設問内容について感覚的にはわかるが、この回答結果に対して、実際に地域に何が必要なのかしっかりと考えていかないといけない。また、「まちづくりの方向性」について、市民の意見が分かれているが、現実を直視しながら市民にどのような形で方向を示していくべきかを考えていく必要がある。

(各種委員会での検討状況について)

- 部会の資料で、商業・サービス業のところに「土地の安さ」の記述があるが、確かに、中津川は東京や名古屋に比べれば安い。しかし、周辺地域をみれば、中津川は土岐や瑞浪よりも高い。しっかり、現実を見据える必要がある。また、「6次産業」とは何か。専門用語を使用するのはよいが、言葉だけが先行してしまう。市民にもわかりやすく地に着いた形で議論していくべきである。

議題1 ビジョンアウトプット構成案について

(第4章に関して)

- 第4章戦略1と戦略2で縦と横と解説があるが、この2つの戦略をみるとトーンが違う。戦略1の方が上位的であり、戦略2の方は具体化したものに見える。理念、目標、戦略(方針)で整理したらどうか。検討してほしい。
- 第4章の4-3に「15地域」にそれぞれキャッチフレーズを示すことが書いてあるが、実際それは可能なのか。地域と市全体の整合性が保たれるか議論が必要である。

(第5章に関して)

- 部会などで検討している「12の分野」については、第5章5-1①に入ると思うが、厳密でよいがそれ故に視野が狭まって政策としての体系化がしにくいと思われる。例えば、観光は、複数の分野に関連することであり、他の分野の共通事項として横糸としての分野となる。しかも、これからは地産地消が大事となってくる。全体を俯瞰した議論も必要となる。

議事2 今後の進め方について

- 市民・企業アンケートの結果について、市民の考え方、企業の意見について、更に分析(クロス集計)を進め、様々な意見を盛り込んだ上で、次回以降に報告してほしい。
- 地域委員会、女性・若者委員会の意見の中で、現在すでに取り組みられているもの、これから試験的に取り組みはじめるものを整理していくとよい。3年から5年の短期的なビジョンも折り込めるとよい。

議事3 整備イメージ(案)叩き台(地元協議会用資料)について

- リニアの駅、路線、車両基地の位置が決まっていない前提であるとの認識の上で、国道19号について深沢交差点や中津川ICの改良と詳細に書いてあり、他の箇所とトーンが違うので全体のトーンに合わせて欲しい。道路構造の表現方法等調整が必要。
- 「まちづくり」とは、どこの範囲を示すのか。しっかり定義したい。また、道路アクセスは誰のものを今一度考えるべき。住む人もそうであるが、全体を考えたときの道路のあり方がある。全体を見るということが大事である。さらに、この資料の場合、道路が太い線となっている。恵那市の計画では線はこれよりも細い。来年のJRの計画発表まで難しい面もあるが、恵那市との連携についていつの時期から進めていくか検討してほしい。
- 新駅周辺の道路インフラ整備は全ての基本であると考えている。現時点の情報の中で、この資料は地元叩き台イメージとして評価している。地元では駅前にはパチンコなどのアミューズメントは極力排除したいとの意見で一致している。
- 駅サービス施設の範囲がもう少し広いとよい。また、整備にあたっては、PFIなどの事業手法が考えられるが、できれば地元民間の活力を活かす形でやっていくことが望ましい。また、サービス施設については、地元情報発信、地元食材販売などしている東海道新幹線の掛川駅構内の「これっしか処」の例も参考になる。

(その他)

- ・商工会議所で実施している栗拾い、そば打ち道場などの体験型のバスツアーが盛況である。「観るだけ」のツアーは参加が少ない。こうした実態を踏まえた検討が重要となる。
- ・日本経済新聞に、リニアを利用した1日の仕事での取引ストーリーが示されたイメージしやすいおもしろい記事が掲載されていた。このようなイメージしやすい話を広めて、市民にも興味をもってもらうようにしたい。
- ・中津川のリニアの駅で降り立ったときの売りは「恵那山」であると感じている。恵那山への眺望を最大限に活かしていくとよい。